

CSR Communication Book

CSRコミュニケーションブック

2018



ごあいさつ

社会にもお客様にも 必要とされる 企業グループを目指して

東京建物は、明治29年(1896年)に旧安田財閥の創始者・安田善次郎によって設立された日本で最も歴史ある不動産会社です。安田は、不動産取引がまだ十分に整備されていない時代に、すべての人が安心して不動産取引ができるようにと考え、「お客様第一の精神」と「進取の精神」という理念をもって当社を設立しました。この精神は当社の事業活動の原点となっており、120年を経過した今も時代を超えて脈々と受け継がれています。

今、私たち東京建物グループは、グループが有する多様な事業の有機的な協働でシナジー(相乗効果)を巻き起こし、ソフト・サービスの一層の強化を図ることで、“お客様が驚きを感じられる魅力あふれる価値”の提供を行うことを目指しています。ハードとしての使いやすさは勿論のこと、ソフト・サービスの追求によって、少子高齢化や価値観の多様化といった社会の変化に対応し課題解決に取り組むことは、社会にとって新たな価値となります。

「信頼を未来へ」という企業理念をグループ社員全員で体現することで、社会やお客様からの信頼を築き上げ、『社会の役に立つ、社会にもお客様にも必要とされる企業グループ』として成長してまいります。引き続きご支援・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員

野村 均

企業理念

「信頼を未来へ」

世紀を超えた信頼を誇りとし、
企業の発展と豊かな社会づくりに挑戦します。

企業姿勢

私たちは、豊かな夢のある暮らしを応援します。
私たちは、快適な都市環境づくりを目指します。
私たちは、価値あるやすらぎの空間を創造します。



東京建物グループのCSR

東京建物グループのCSRとは、企業理念および企業姿勢に基づき、「都市の未来に貢献する」まちづくりを実現していくことです。そのために、「安全・安心」「環境」「社会変化への対応」「地域社会への貢献」という4つのテーマを設定し、CSR活動を推進しています。



地域社会への 貢献

東京建物グループは、
地域社会の一員として、まちづくり、
コミュニティづくりに取り組むとともに、
「豊かな社会づくり」に向けて、
さまざまな社会貢献活動に取り組んでまいります。

SDGs (持続可能な開発目標) への取り組み

SDGsとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略であり、国連サミットで採択された2030年までの国際的な目標です。途上国から先進国まで、多様な社会的課題を考慮して幅広い分野で17の目標が設定されており、企業にも目標達成に向けた貢献が期待されています。

東京建物グループは、SDGsの理念に共感し、デベロッパーとしての事業活動を通じて目標の達成に貢献します。



障がい者スポーツの支援 6

日本障がい者スポーツ協会 (JPSS) オフィシャルパートナー

米づくりを通じた東日本大震災復興支援 8

福島県天栄村応援プロジェクト

“まち”の一員として 10

八重洲・日本橋・京橋でのまちづくり活動

Topics 12

まちづくりリーダー育成プログラム／江戸まち塾

日本障がい者スポーツ協会 (JPSA) オフィシャルパートナー

共生社会の実現に向けて

普及啓発活動などを通じて、
障がい者スポーツを積極的に応援します

東京建物は、社会貢献活動の一環として、2015年8月から公益社団法人日本障がい者スポーツ協会 (JPSA) のオフィシャルパートナーを務めています。デベロッパーとしては、業界で最初のオフィシャルパートナーです。

障がい者スポーツの理念である「活力ある共生社会の創造」実現の一助となるべく、普及啓発活動などを通じて、障がい者スポーツを積極的に応援しています。2017年はグループ内に向けて競技や大会情報を発信して観戦を促し、より多くの社員が大会を観戦・応援することで、障がい者スポーツへの認識を新たにしました。

また、2020年に向けて「健常者や障がい者といった垣根を越えて、一体感を生み出し喜びを共にする」というビジョンに共感し、競技用義足開発ラボラトリーが併設され、障がい者も健常者も一緒になってトレーニングが行える陸上競技施設「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」のネーミングライツを取得し、施設運営に協力しています。



競技の体験 (ボッチャ)

ボッチャは体力差が出にくく健常者も楽しめるスポーツです。グループ新入社員親睦のために行う合同運動会では、ボッチャを種目にとりいれました



競技の観戦

障がい者スポーツをもっと身近に感じてもらい、その魅力を体感してもらうために、社員有志が集まって大会観戦をしています

障がい者も健常者も一緒になってトレーニングが行える陸上競技施設「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」のオープニングイベント



包摂的な施設の提供とそれを通じた学習機会の提供に貢献します。

年に3回、農作業のお手伝いに向う
秋晴れの下、稲刈り後に天栄米栽培
研究会の皆さんと

福島県天栄村応援プロジェクト

米づくりを通じた 震災復興支援

■ 頑張る農家を応援する地域支援

東日本大震災からの復興および都市と農村の交流を通じた豊かな社会づくりを目指して、東京建物とグループ社員の有志約100名が参加し、福島県天栄村の特産品「天栄米」の米づくり活動を支援しています。

社員とその家族が地元農家の方々と交流しながら、春の田植え、夏の草とり、秋の稲刈りなどの作業に参加しました。収穫したお米は、2合の小分け包装にしてお客様にお配りし、天栄米のさらなる普及に向けたPR活動のお手伝いをしています。「天栄村から福島を元気にする。」を合言葉に、会社と個人が一体となって天栄村から福島の復興を応援しています。

日本一おいしいお米を目指して

「おいしく、美しく、未来へつなぐ」の理念のもとに、日本一おいしいお米をつくるために意欲のある米農家が集まり、無農薬栽培などの研究を続けているのが「天栄米栽培研究会」です。この研究会がつくる天栄米は、全国規模でお米の味を競う「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、9年連続での金賞(最高位)受賞を果たしています。



天栄村での田植え
大人から子どもまで家族で参加して農家の方々とともに田植えをします。無農薬栽培なので、子どもでも安心して田んぼに入ることができます



地元農家の方々との交流
農作業のお手伝いの後は、天栄村で栽培された食材を使った料理を食べながら、農家の方々と交流し、天栄村への理解を深めました



持続可能なまちづくり、持続可能な生産と消費に貢献します。



日本三大祭りにも数えられる山王祭への参加
2年に一度の山王祭には多くの役員・社員が参加します

八重洲・日本橋・京橋でのまちづくり活動

“まち”の一員として

東京建物グループでは、東京建物本社ビルの位置する八重洲・日本橋・京橋地域をはじめとする複数の地域において、清掃や地域活性化のためのイベントへの参加・運営のお手伝いなど、さまざまなコミュニティ活動を通じて地域の価値向上に取り組んでいます。

■ クリーン活動の実施

街の美化のため、業務開始前の時間などを活用し、清掃活動を定期的に行っています。また、日本橋「橋洗い」イベントには2013年から連続して参加。中央通りの歩道上の花壇の管理には、NPO法人はな街道の事務局の一員として参加・支援しています。今後も地域コミュニティの一員としてまちの美化に貢献していきます。

■ 日本三大祭り「山王祭」への参加

東京建物本社所在地域の大切な行事であり、天下祭と謳われ、また大阪天神祭や京都祇園祭とともに日本三大祭りにも数えられる「山王祭」に、東京建物グループは積極的に参加して伝統文化の継承に努めています。神輿が練り歩く下町連合渡御には、多くのグループ社員が参加し、神輿担ぎをはじめ地元町内会の方々と一緒にお祭りを盛り上げています。



さまざまな活動を通じて、都市における人のつながりを支援します。



清掃活動の様子
役員やグループ社員も一体となり、毎回100人以上の社員が参加してエリアでの活動を行っています

地域イベントへの参加



さくら祭りへの参加
八重洲・日本橋のさくら通りで開催されるお祭りには、グループ社員がバンドを組み参加。お祭りを盛り上げます

まちづくりを学び考える「まちづくりリーダー育成プログラム」

東京建物が保有・管理する東京スクエアガーデンには「京橋環境ステーション」という都市の低炭素化をすすめるための拠点施設があります。2017年は、ここでエコなまちづくりを学ぶ無料セミナー「まちづくりリーダー育成プログラム」(全8回)を開催しました。地域課題の解決や新たなアイデアを創出するための座学と議論、フィールドワークなどを通じて、未来のまちづくりを担う人材を育成することを目的としています。

東京建物はこのセミナーを一般社団法人エコまちフォーラムと共催し、企画運営も行っています。



第8回 発表会の様子
大学生と会社員の混成チームがそれぞれに練ってきたプランを発表。講師陣の講評を受け、優秀チームが表彰されました

江戸からつながる歴史を学び 文化を継承する「江戸まち塾」

「江戸まち塾」は、日本三大祭りのひとつである「山王祭」をより楽しむために、その歴史から神輿の担ぎ方まで、さまざまなことを学ぶプログラムです。山王祭を支える町会に主催をお願いし、東京建物は事務局を務めています。

参加者は社内外に広く募集し、第一人者を講師にお迎えして、さまざまな視点から山王祭の楽しみ方をお話ししていただきます。

こうした活動を通じて、地域の住民のみならず、オフィスワーカーなどにも地域の歴史や文化を深く知っていただき、文化を引き継ぐ人が増えることを願っています。



はしご乗りと木遣り、綱振り実演の様子
「江戸まち塾」が行われた東京スクエアガーデンにて、江戸消防記念会第一区により実演が行われました

社会変化への対応

東京建物グループは、社会の変化を見つめながら、事業を通じて社会の課題に取り組み、「豊かな夢のある暮らし」「快適な都市環境」「価値あるやすらぎの空間」を実現してまいります。

女性の社会進出の支援 14
「Brillia Bloomoi (ブリリアブルーモウ)」プロジェクト

高齢化社会への対応 16
サービス付き高齢者向け住宅「グレイブス」シリーズ

集合住宅の再生 18
マンション・団地再生

待機児童増加への対応 20
「おはよう保育園」の開園

Topics 22
もっと自由に働けるオフィス「+OURS(プラスアワーズ)」



「Brillia Bloomoi (ブリリアブルーモウ)」プロジェクト

働く女性の幸せを 実現する Bloomoi

女性の社会進出を支援します

女性の社会進出が進むなか、女性の生活や幸せのあり方が多様化し、住宅へのニーズが変化してきています。そのため、住宅の開発に女性の目線を取り入れ、より多様な生活様式の変化に対応していくことが求められています。

東京建物グループでは、働く女性のインサイトを深耕し、多様化したニーズに応えられる住まいを考え、実現する「Brillia Bloomoi (ブリリアブルーモウ)」プロジェクトを発足。女性社員を中心に構成したメンバーが「共感・対話・共創」を大切に、働く女性たちが自分らしく、より幸せになれる住まいを考えています。

Bloom (咲く)とmoi (私) からなる造語のBloomoiという名称には、働く女性たちのたくさんの笑顔や才能がしなやかに咲き誇る、という意味が込められています。

「共創」でニーズを探る

働く女性たちのライフスタイルは実にさまざまです。Bloomoiでは「共創」を重視し、イベントや対話、Facebook等を通じて働く女性のインサイトを調査して商品企画につなげます。調査結果やグループインタビューでのアイデア、ヒントをもとに設計した間取りや設備は、働く女性たちとの意見交換などを経てブラッシュアップしていきます。

Bloomoi 公式サイト www.brillia.com/bloomoi/

Bloomoi 公式フェイスブックページ www.facebook.com/BrilliaBloomoi/

Bloomoi 公式インスタグラムページ www.instagram.com/brillia_bloomoi/



女性の暮らしやすさ・働きやすさを、住宅・オフィス環境の整備を通じて向上させ、ジェンダー平等に貢献します。



Bloomoi (ブルーモウ)の
プロジェクトメンバー

Bloomoi プロジェクトで 開発したものの例



ブルーモウ・ライブラリー

料理の合間などにちょっとした作業ができるワークスペースをキッチンのそばに設置。急な来客時には扉を閉めてすっきりとした空間になります（左：オープン時/右：クローズ時）



「グレイプス川崎新町」での食事イベント
本物の竹を使った流しそうめんを食べました

サービス付き高齢者向け住宅*「グレイプス」シリーズ

歳をとっても 自分らしく生きる

生活環境づくりから高齢化社会に対応します

近年、少子高齢化は急速に進み、2025年には総人口に占める65歳以上の割合が30%を超えることが予想されています。そうした中で、終の棲家としての住宅のあり方と、介護や医療などのサービスの充実が重要な社会課題といえます。東京建物グループでは、高齢者向け住宅サービスと介護サービスを一体的に提供するサービス付き高齢者向け住宅*「グレイプス」シリーズを通じて、「住まい」と「サービス」が一つになった豊かな暮らしを提供することを目指します。また、周辺に住まわれる住民の方々との関係を計画段階から念頭に置き、地域コミュニティの一員として、生涯住むことができる環境づくりを行います。

高品質な住まいと手厚く細やかなサービス

「グレイプス」シリーズはBrilliaブランドの新築分譲住宅事業で培った高いクオリティを実現し、バリアフリーにも配慮。それぞれの入居者ニーズに応じた多様な暮らしを提供します。日中はコンシェルジュが常駐し、居宅介護支援事業所や訪問介護事業所、医療機関と連携して入居者一人ひとりに合った最適なサポートを提案します。



3 すべての人に健康と福祉を
11 住み続けられるまちづくりを
介護機能の提供を通じて、健康的な生活の確保に貢献します。周辺地域との連携により、多世代が暮らす持続可能なまちづくりを目指します。

* サービス付き高齢者向け住宅とは、高額な入居一時金を支払うことなく、介護が必要な方には介護サービスなどを利用しながら自由に生活できる賃貸住宅であり、高齢者の居住の安定確保に関する法律（高齢者住まい法）によって規定されています。2017年12月末時点で約22万5千戸が整備され、拡大し続けています



「グレイプス湘南辻堂」
辻堂駅前の広大な敷地に分譲住宅・多世代コミュニティ施設・コミュニティ広場・商業施設とともに計画されました。緑地も多く環境にも配慮しています

多世代が暮らす



子どもとの交流イベント
同じ建物に保育園を併設した施設や近隣に幼稚園のある施設では、子どもたちとの交流があります

マンション・団地再生

地域コミュニティを再生する

老朽化した集合住宅の建替えに取り組む

戦後、日本各地につくられ高度成長期を支えた「団地」が老朽化し、建替えが必要な時期を迎えています。また、建物の劣化だけでなく、かつて多くの子育て世代が住んでいた団地は住民の減少と高齢化が進んでおり、孤独死が社会的な問題に挙げられるなど、地域住民をつなぐコミュニティの再生が必要になっています。デベロッパーには、単に住宅を販売するだけでなく、販売活動を通じて新たな地域のイメージをつくり、住宅購入者のターゲット設定や販売後の管理を通じて持続可能なコミュニティを形成するなど、多くの可能性と社会的責任があると考えています。東京建物グループは、団地やビルなどの建替えに取り組むとともに、これからの時代に対応した新しい価値を生み出して、地域コミュニティの再生に貢献します。



建替えを通じて、ご高齢者からお子様までさまざまな世代の人が安全・安心に暮らせる包摂的なまちづくりを目指します。また、緑地を創り出すことにより、生物多様性の維持・回復に貢献します。

「Brillia 多摩ニュータウン」既存の緑地を保存しながら、日本最大規模の建替え事業を実現。高齢者に偏っていた住民の世代構成が大きく若返りました



「Brillia 多摩ニュータウン」の街びらき地権者・新住民の街びらきイベントなど全体交流イベントを開催。竣工後も管理会社と連携して、コミュニティ醸成支援を行っています



「千里津雲台A分譲住宅マンション建替事業」(建替え後のイメージ)大阪府吹田市の千里ニュータウンにおける現在進行中の建替事業。建物解体前の2017年10月には、地権者だけでなく、ご近隣にお住まいの方もご招待し、A分譲住宅での思い出を振り返る「50年間メモリアル感謝祭」を開催しました

一人ひとりと向き合い、よりそっていく。
お子様の気持ちを大切に、お子様のため
になることを考えていきます



「おはよう保育園」の開園

保育を通じた 社会・地域貢献

待機児童増加に対応します

近年、都市部では人口の集中や両親共働きの世帯が増えることにより、保育を必要とする児童の数に対して保育施設が不足し入所待ちが長引く、待機児童問題が発生しています。

東京建物グループは、東京建物キッズ株式会社を設立して保育事業を新たに展開し、子育て世帯および未来を担う子どもたちのために保育環境の整備に取り組んでいます。2017年4月には、東京・横浜の3カ所に「おはよう保育園」を開園しました。

2018年4月には、さらに5園を開園します。

デベロッパーとして、建物の開発事業のみならず、子どもからお年寄りまでソフトサービスを一貫して提供すること、開発エリアへの地域貢献を行うことが、企業理念である「豊かな社会づくり」につながると考えています。

東京建物キッズが運営する「おはよう保育園」

東京都

- 「おはよう保育園 亀戸」東京都認証保育所
- 「おはよう保育園 南砂町」東京都認可保育所
- 「おはよう保育園 大森町」東京都認可保育所
- 「おはよう保育園 椎名町」東京都認可保育所
- 「おはよう保育園 西巢鴨」東京都認可保育所

横浜市

- 「おはよう保育園 横浜根岸」横浜市小規模保育所
- 「おはよう保育園 三ツ沢下町」企業主導型保育所
- 「おはよう保育園 花咲町」横浜市認可保育所



おはよう保育園の由来

社会生活で一番大切な「挨拶」をしっかりできる人間になってほしい。1日の始まりに「おはよう」という挨拶で、清々しくスタートしてほしい。将来も「おはよう保育園」が心の故郷になり、いつまでも愛される園でいたい、そんな思いが込められています



自然素材へのこだわり

子どもがふれる場所には無垢材の木を使い、本物のやわらかさ・温かさ・肌触り・香りなどを感じてほしいと考えています



不足する保育機能の提供を通じて、次世代を育てる人々が暮らしやすい包摂的なまちづくりに貢献します。

もっと自由に働けるオフィス「+OURS」

起業したてのスタートアップ企業では、手軽に利用できる安価なワーキングスペースが求められています。また、スタートアップ企業と新規事業を生み出すための「オープンイノベーション」に取り組む大手企業も増えています。

東京建物では、会員制シェアオフィス「+OURS (プラスアワーズ)」を2017年7月からスタート。サービスオフィス(法人登記可能な1~16名用の家具付きオフィス)とワーキングスペース(フリーアドレス制のオープンラウンジ)を用意し、多様な働き方のニーズに応えつつ、利用者同士の交流も促進します。

ワーキングスペースには、集中して作業するゾーンと交流を促進するゾーンを設定。より細かなニーズに応えます。

また東京建物は、株式会社日本政策投資銀行の「DBJコネクト」(オープンイノベーションによる新規事業創出支援プログラム構築)を応援しており、このプログラムに参加している企業に、ワーキングスペースを無料で開放しています。

2017年末時点で首都圏における2大メガターミナル駅至近の八重洲(東京駅)、西新宿(新宿駅)の2カ所を運営しています。



「+OURS新宿」のワーキングスペース
49階の窓からは富士山も望め、
シャワールームやリラクゼーションルームもあります



「+OURS八重洲」の受付
スタートアップ向き家具付き小規模オフィスは
24時間利用可能です

安全・安心の 取組み

東京建物グループは、
お客様第一の精神を企業活動の原点に据え、
「安全・安心」につながる「高品質」な
商品・サービスを提供することで、
お客様の期待に応えてまいります。

ビルの防災 24

安全に働けるオフィスビル

Brilliaの防災 26

安心の住まいづくり

Topics 28

レジャーリゾート／おふろの王様



本社ビルでの震災対策総本部訓練の様子
災害時を想定し、支店および各ビルと連携して毎年訓練を行う

安全に働けるオフィスビル

備えることで 災害に強くなる

自衛消防隊の活躍

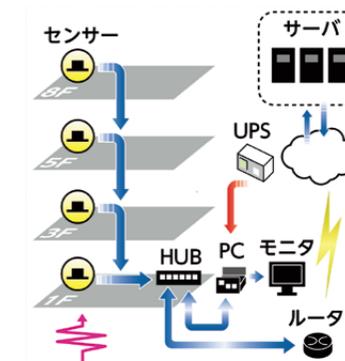
東京建物グループが管理するビルでは、安全・安心への取組みの一環として、自主防災体制の強化を目的に、年に1~2回、自衛消防訓練を実施しています。この訓練では、所轄消防署の指導を仰ぎながら、地震および火災発生時の初動対応、初期消火、救出救護、傷病者搬送、避難誘導など、実践的な訓練を実施しています。また、東京建物の自衛消防隊は、日本橋消防署主催の「自衛消防訓練審査会」に長年出場し、2006年、2012年、2016年の3回にわたり優勝しています。さらに、応急手当などの救命講習を修了した社員が東京建物227名、東京不動産管理513名(2017年12月末現在)おり、東京消防庁から救命講習受講優良証の交付を受け、応急手当奨励事業所になっています。

地震発生時に被災度を判定するシステムを導入

大地震が発生した際には、安全確保のため、建物内にとどまってよいのか、建物外へ避難しなければならないのか判断する必要があります。そこで、東京建物のビルでは、複数のセンサーによって建物の変形(被災度)を判定するシステムを導入し、地震発生後、素早くビルの安全性を確認できるようにしています。



自衛消防訓練審査会実技の様子
2017年9月7日開催の審査会では、東京建物より男子隊・女子隊が出場し、それぞれ3位に入賞しました



被災度判定システムのイメージ
複数のセンサーで感知した揺れを自動的に計算し、被災度を判定。PCには可動部がなく揺れに強い機種を採用。1日1回、オンラインで動作確認を行い、信頼性を確保します



防災への取組みを通じて、安全なまちづくりを目指します。また、気候変動などの影響を受けた大規模な自然災害に対する適応力を高めます。

安心の住まいづくり

安全の確保が 安心につながる

「そなえる、まもる、たすけあう」がコンセプト

マンションごとにオリジナルの防災マニュアルを作成。各住戸にBrillia独自の防災リュックを標準装備するなど、さまざまな防災・減災対策を定めた「Brillia 防災対策ガイドライン」を、Brilliaブランドの住宅に適用しています。本ガイドラインは、2011年に「グッドデザイン賞」を受賞しました。

情報の積極的な提供が安心につながる

Brilliaでは、知ることが「住んでからの安心」につながると考え、お客様への情報の提供に力を入れています。建築中は「建築レポート」「施工状況レポート」「建築現場見学会」、引渡し前に住戸をご確認いただく「内覧会」、ご入居に向けた諸手続きやご契約者様同士の懇親を深める「入居前手続会」などを開催し、住んでからの安心を住む前から提供します。

「Brillia 文京江戸川橋」での防災訓練
家族で参加していただき、防災設備の使い方を学ぶだけでなく、居住者間の交流を深めながら、防災の意識を高めることができました



Brillia オリジナル防災リュック

いざという時に役立つアイテムが入ったBrillia独自の防災リュックを各住戸に標準装備。リュックとしてだけでなく、椅子としても使用可能です



建築現場見学会

完成後には見ることができない工事の各段階を見学。現場のスタッフがガイド役として、設計・施工に関するさまざまな質問にお答えします



防災への取組みを通じて、安全なまちづくりを目指します。また、気候変動などの影響を受けた大規模な自然災害に対する適応力を高めます。

人も愛犬もどちらもリラックスできる 新しい価値「レジャーリゾート」

「レジャーリゾート」は、「愛犬ともっともっと仲良くなれるリゾート」をテーマに掲げ、愛犬と一緒に利用できるリゾートホテルを関東甲信越エリアの6カ所に展開しています。

各レジャーリゾートでは、愛犬と人が安全に楽しめるよう、さまざまな工夫をしており、傷や汚れのつきにくい床、間違っても破損しても大丈夫な保険制度、さまざまなアメニティ、宿泊者個別のドッグランなど、安心して愛犬と宿泊できる環境を備えています。



人と愛犬どちらもリゾートを楽しめる
施設の企画から運営まで、愛犬と宿泊してリゾートを楽しむことを基本としつつ、リゾートホテルとしてのクオリティの高さと充実したサービスも兼ね備えています

お風呂を通じたコミュニケーション ふれあいと健康を掲げる「おふろの王様」

「おふろの王様」は、「地域密着・ふれあい・コミュニケーションを高める」「健康増進・予防医学施設を目指す」を掲げ、個性ある温浴施設にお食事処などを併設し、南関東エリアに11店舗を展開しています。

お客様に安心してご利用いただけるよう、衛生管理には常に力を入れています。お風呂は日々の清掃・殺菌・水質検査に加え、過酸化水素による配管洗浄を年3回実施。お食事処の衛生管理は、店舗ごとにマニュアルを作成し、外部専門業者による衛生検査を行っています。



やすらぎの空間は美容と健康にも通じる
ストレスを解きほぐす開放感のある露天風呂、医療用としても認知されている高濃度炭酸泉、各種岩盤浴など、美容と健康のお手伝いとなるお風呂を各種とりそろえています

環境への 取組み

東京建物グループは、「グループ環境方針」のもと、それぞれの事業の特性にあわせた環境配慮を行い、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

都市と自然の再生「大手町の森」 30
都市における新しい緑の創出

Brilliaの環境対応 32
環境に配慮した住まいづくり



本物の森をめざして作られた「大手町の森」緑地が気温の低い領域（クールスポット）を生み出し、ヒートアイランド現象の緩和にも貢献。夏場はベンチで涼をとる人々も多く、憩いの場となっています。

都市における新しい緑の創出

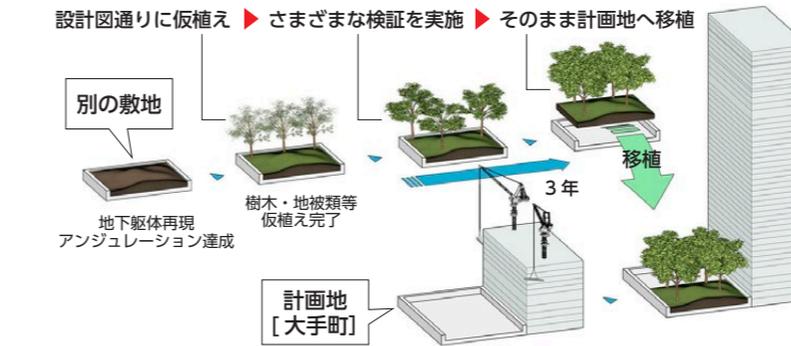
都市と自然の再生 大手町の森

都市の真ん中に本物の森をつくる

「都市を再生しながら自然を再生する」というコンセプトのもと、本物の森を目指してつくられたのが「大手町の森」です。プレフォレストという手法を用い、3年をかけて別の敷地で樹木の組み合わせや管理方法などを検証した後、丸ごと大手町に移植しました。竣工から4年を過ぎ、今では皇居や他のビルの緑地とともに、地域の生物多様性に貢献しています。

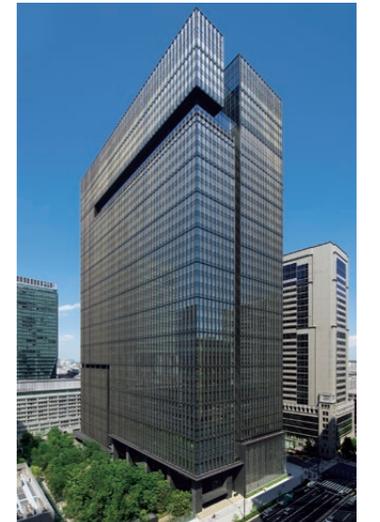
2017年には、第16回「屋上・壁面緑化技術コンクール^{*}」の屋上緑化部門で最優秀賞となる“環境大臣賞”を受賞するなど、都市緑化に関するさまざまな賞を受賞しています。

●プレフォレストのイメージ



最新の設備機器により、エネルギー効率を高めます。また、気候変動などの影響を受けた大規模な自然災害に対する適応力を高めます。緑化により生物多様性の維持・回復に貢献します。

※公益財団法人都市緑化機構主催。都市環境を快適にする屋上や壁面の緑化について取り組む団体等を表彰し、都市緑化技術の普及促進や、緑豊かな都市環境の実現へ寄与することを目的とする



大手町の森と大手町タワー
約3,600m²という広い緑地はヒートアイランド現象の緩和、都市型水害への対策効果、地域の生物多様性に貢献します

大手町タワー「大手町の森」に関する表彰・認証実績

- 「DBJ Green Building 認証」の最高ランク「プラチナ」認証 (2013年)
- 「いきもの共生事業所[®]認証制度 (都市・SC版)」の第1号認証 (2014年)
- 第30回 都市公園コンクールで最高位「国土交通大臣賞 (企画・独創部門)」受賞 (2014年)
- 「SEGES (社会・環境貢献緑地評価システム) : 都市のオアシス2015」認定 (2015年)
- 第35回 緑の都市賞「国土交通大臣賞」受賞 (2015年)



「としまエコムーゼタウン」は、日本で初めて区本庁舎（豊島区）とマンション（Brillia Tower 池袋）を一体化させた建物です。中間層屋上に緑地「豊島の森」を設け、壁面緑化やソーラーパネルを組み合わせて周囲の環境との協調や省エネルギーに取り組んでいます。

環境に配慮した住まいづくり

住まいへの想い 緑・暮らし・未来

3つのエココンセプト

マンションは大きさや耐用年数、使う資材も多様であり、環境に及ぼす影響も幅広く、とりうる対策も多岐にわたります。そこで、Brilliaでは「みどりを想う」「くらしを想う」「みらいを想う」という3つのコンセプトを設けて、マンションを計画しています。

周囲と協調する緑をつくりだす

お住まいの方々の生活における憩いと潤いのため、周辺地域の生態系・環境維持のために、周囲の環境と協調する緑地をできるかぎり設けています。敷地内に設ける中庭や小道の樹木は、公園の緑地と協調して生き物の生活範囲を広げ、周辺地域の生物多様性を豊かにします。

高効率でクリーンな設備機器の採用

省エネに配慮した設備を積極的に取り入れています。高効率な暖房・給湯・照明設備を採用、生活の快適さ・豊かさを維持しながら、環境への負荷を抑えた暮らしができるようにします。



最新の設備機器により、エネルギー効率を高めます。また、敷地内の緑地と公園の協調により、生物多様性の維持・回復に貢献します。



「Brillia 大田 Park Front」
（完成予想図）

区立板橋公園に隣接。公園の豊かな緑と連続した緑地空間を敷地内に整備します



「Brillia Tower 横浜東神奈川」
（完成予想図）

低炭素建築物認定制度の認定を受けています。省エネ法に定める省エネ基準に対して、一次エネルギー消費量を10%以上削減。加えて複数の低炭素化対策を行っています

グループ概要

会社概要

会社名：東京建物株式会社
 Tokyo Tatemono Co.,Ltd.
 本社：〒103-8285
 東京都中央区八重洲一丁目9番9号
 東京建物本社ビル
 創立：1896年10月1日
 資本金：924億円(2017年12月末現在)
 従業員数：587名(2017年12月末現在)
 連結従業員数：4,813名(2017年12月末現在)

東京建物グループの事業

東京建物グループは、お客様の一生に寄り添う多様な事業を展開し、ハード面のクオリティだけでなく、上質なソフトやサービスを追求することで“お客様が驚きを感じられる魅力あふれる価値”を提供します。



グループ会社

- 東京建物不動産販売株式会社
- 東京不動産管理株式会社
- 東京ビルサービス株式会社
- 新宿センタービル管理株式会社
- 西新サービス株式会社
- 株式会社東京建物アメニティサポート
- 株式会社イー・ステート・オンライン
- 株式会社プライムプレイス
- 日本レンタル保証株式会社
- 日本パーキング株式会社
- 株式会社パーキングサポートセンター
- 東京建物シニアライフサポート株式会社
- 株式会社誠愛苑
- 株式会社ケアライク
- 株式会社フロンティア
- 株式会社フロンティア西日本
- 株式会社メディカルリンク
- 東京建物リゾート株式会社
- 東京建物(上海)不動産咨询有限公司
- Tokyo Tatemono Asia Pte. Ltd.
- 東京建物不動産投資顧問株式会社
- 株式会社東京リアルティ・インベストメント・マネジメント
- 東京建物キッズ株式会社

CSR情報の開示について

東京建物グループCSRサイトにて、より詳しい情報を開示しています。
www.tatemono.com/csr/

制作担当部署

東京建物株式会社 広報CSR部
 TEL：03-3274-1984
 〒103-8285
 東京都中央区八重洲一丁目9番9号
 発行：2018年3月

